



ひまわりぐみだより

2017年 5月 第1号

穏やかで優しい日の光が、青空の下で元気いっぱい遊ぶ子どもたちを温かく包み込んでくれています。ちょっぴり緊張しながら登園していた子どもたちも少しずつひまわりぐみの生活に慣れ、「今日は何するの?」「早くお外で遊びたい」と楽しみに登園して来るようになりました。そんな子どもたちの姿を見て私達も嬉しく感じています。これから様々な行事や経験を通して成長していく子どもたちと共に、楽しい思い出をたくさん作っていきたいと思います。

クラスの様子



4月から新しいお友達が入園して20名となり、毎日元気いっぱい過ごしている子どもたちです。ロッカーや靴箱の場所を少しずつ覚え、自分の荷物を上手にしまうことが出来るようになってきました。ジャージやシューズ等は、まだ前後左右を逆に着用してしまうことも見られるので、その都度声をかけながら進めています。また、ひまわりぐみになり給食の量が増え、「こんなにたくさん食べられるかな?」「チーズ3個もあるの?」と言って、初めは驚いていた子どもたちでしたが、最近では大きくなった喜びを感じながら残さず楽しく食事をしています。苦手な野菜等も、「先生見ててね!」「ひまわりぐみさんだから食べられるよ!」と自分から進んで口に運ぶ姿もたくさん見られています。頑張った時にはたくさん褒めてあげて、子どもたちの自信に繋げていけたらいいなと思っています。



お当番活動



4月中旬からお当番活動を始めました。子どもたちが好きな動物の中からグループ名を選び「くま・うさぎ・ねずみ・りす・いぬ」の5つのグループに分かれて行っています。お当番の日には、みんなの前にはりきって出て名前を言っている子、ちょっぴり恥ずかしそうにモジモジしてしまう子と様々ですが、みんなお当番が大好きです。「今日は何グループさん?」と自分の番を心待ちにしているようです。今はまだ給食やおやつの時間の挨拶程度のお手伝いですが、子どもたちのやる気を大切に、出来ることを少しずつ増やしながら進めていきたいと思っています。

3歳児ってこんな時期

3歳児の時期はいよいよや期のピークを過ぎますが、「〇〇がやる!」とまだまだ自己主張を盛んにします。しかしそれだけ周りが見えるようになり、自分で出来ることが増えたということです。この時期になると我慢する力が育ち始め、自分の感情を抑えることが出来るようになってきます。また、「それでね」「それからね」等の接続詞や、「て・に・を・は・が・と」等の助詞を組み合わせて、長い会話が出来ようになります。様々な面で急速に力をつける大事な時期ですので、子どもたちとのコミュニケーションを十分にとりながら成長を見守っていきたいと思います。

お願い

クラスで、生活発表の場を設けています。お忙しいとは思いますが、ご家庭でも園の様子をお子さんに聞くなど、コミュニケーションをとって頂くようお願い致します。